

快適環境だより

★★第116号★★
平成23年2月1日

発行 高山市快適環境づくり市民会議事務局
TEL0577-35-3138 Fax0577-35-3169

新しい年が明け1ヵ月がたちました。皆さんいかがお過ごしですか。
2月は“省エネルギー月間”です。寒い日が続き、暖房器具が必需品
となっていますが、エネルギーを使うため二酸化炭素の排出量も増えて
います。暖かい服装をしたり、温かい食べ物を食べたり、それぞれの家
庭で出来る工夫をして、「省エネ」生活を心掛けましょう。
もうすぐ「立春」・・・暖かい春の訪れが待ち遠しいですね。



3月1日(火) 推進大会を開催します！

高山市快適環境づくり市民会議では、今年度も、クリーン作戦や、グリーンマーケットなど、さまざま
な活動を行ってきました。その総括として、下記のとおり「推進大会」を開催します。

今年度の活動報告と、今後の活動方針を決定する大切な大会です。

市民会議の会員の方だけでなく、どなたでも参加できますので、ご家族、友人、職場の方、皆様お誘
い合わせの上、お気軽にお越しください。

◎入場無料、申込不要

日 時 平成23年3月1日(火) 午後1時開場／午後1時30分開会

場 所 高山市民文化会館3-11

内 容 1. 快適環境づくり市民会議の活動について
平成22年度活動報告及び平成23年度活動方針について

2. 環境保全活動の発表
発表：高山市立南小学校4年生の皆さん
テーマ：「すのり川博士になろう！」



3. 記念講演

講師：J. A. T. D. にしゃんた氏

演題：「みんな地球に住む家族

～スリランカからのことづけ～

スリランカ出身の‘にしゃんた’さん。

最近ではテレビ番組「ペケポン」などにも出演されましたので、ご存じ
の方も多いのでは？

「経済的に豊かでも本当に大切なのは心の豊かさだ」という信念の下、
スリランカの生活と政治情勢、日本人について感じたことなど
について、楽しくお話していただきます。

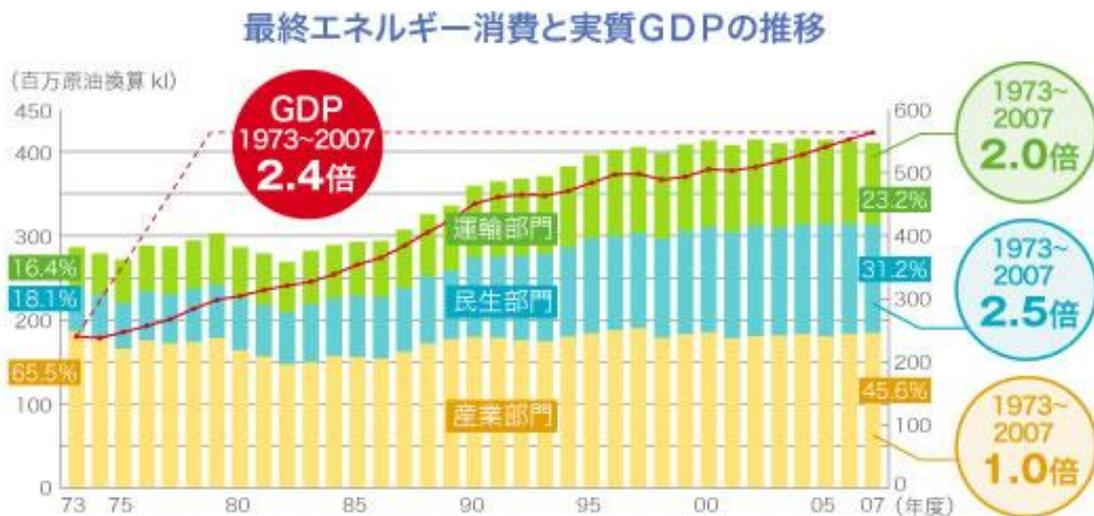
2月は「省エネルギー月間」！

(財団法人 省エネルギーセンターHP参照)

なぜ省エネが必要なのか？

エネルギー資源の供給可能量(可採年数)は、現在の消費ペースを前提として石炭は133年分と見込まれる反面、石油は42年、天然ガスは60年と見込まれています。今後新たな油田や鉱山の発見の可能性もありますが、いずれにせよ限りある資源であることは変わりありません。最も需要量の多い石油については、アジアを中心とするエネルギー需要の急増などにより、需要に見合った供給力を欠くことについて懸念されています。また、石油は地域的に偏在しているため、特定の地域への依存が高まれば、世界のエネルギー需給に対するリスクが高まることとなります。以上の問題は、短期的には解決されないと見込まれており、我が国のエネルギーの安定確保を図るためには、グローバルかつ長期的な視点に立って、対策を講じていく必要があります。

我が国のエネルギー消費は、工場などの産業用はほぼ横ばいで推移しているものの、事務所・商店や家庭などの民生部門と、自動車などの運輸部門での増加が多いため、全体として増加しています。家庭部門を含む民生部門は、石油ショック前の1973年から2007年までの間に、2.5倍に増加しています。



家庭で省エネルギーを進めるためには？ ～簡単に出来ることから～

◎冬は「重ね着」をしましょう！

長袖シャツとズボンのスタイルで快適な室温は22℃前後ですが、長袖セーターを1枚着ると、室温が20℃でも同じ快適性を維持できます。つまり、快適性を犠牲にしないで、暖房設定温度を下げるができます。ぜひ、ご家庭で試してみましょう。

快適環境づくり市民会議の「推進委員会」に参加しませんか？

平成10年に創設された高山市快適環境づくり市民会議は、市民、事業所、団体、行政が一体となって、快適な環境づくりのための活動を行っています。皆さんもこの会員となってみえますが、さらに、活動の幅を広げ「推進委員」として市民会議の運営等にたずさわってみませんか？

「推進委員」として登録されますと、年3回～4回程度開催する「推進委員会」に出席していただけます。現在、約320会員のうち、推進委員は35名で、クリーン作戦や、グリーンマーケット、推進大会の開催などについて話し合ったりしています。

参加を希望される方は、事務局（生活環境課 ☎35-3138）までお問い合わせください。